



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月10日

上場会社名 アジアパイルホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 5288 URL <https://www.asiapile-hd.com>
代表者 （役職名）代表取締役社長最高執行役員 （氏名）黒瀬 修介
問合せ先責任者 （役職名）企画部長 （氏名）鈴木 秀明 TEL 03-5843-4173
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	83,721	16.1	8,115	138.5	8,142	169.5	6,012	149.5
2025年3月期第3四半期	72,140	△5.2	3,402	△31.5	3,021	△32.4	2,409	△24.3

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 6,239百万円（187.0％） 2025年3月期第3四半期 2,173百万円（△50.8％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	157.87	—
2025年3月期第3四半期	63.26	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	102,656	53,459	48.9
2025年3月期	97,395	49,314	47.0

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 50,173百万円 2025年3月期 45,730百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	22.50	—	22.50	45.00
2026年3月期	—	24.00	—		
2026年3月期（予想）				26.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	115,000	14.1	9,500	119.2	9,500	145.3	6,500	170.65

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規1社 (社名) 株式会社高山基礎工業 除外1社 (社名) VJP Co., Ltd.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期3Q	38,089,792株	2025年3月期	38,089,792株
2026年3月期3Q	987株	2025年3月期	942株
2026年3月期3Q	38,088,845株	2025年3月期3Q	38,088,850株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績に関する説明	2
(2) 当四半期の財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな回復傾向が続く中で個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られました。一方、物価高や人手不足等による経済活動への制約や、米国によるベネズエラへの軍事作戦をはじめとする国際情勢の変化といった複合的なリスク要因も懸念され、全体としては緩やかな回復基調の中に不確実性を内包する展開となりました。

当社グループが事業展開しているベトナムでは、高い経済成長率を維持しており、国際的な生産拠点の一つとして一層の重要性を高めております。

当期間における各セグメントの概況は以下の通りです。

① 国内事業

国内事業では、省力化・省人化投資やサプライチェーン強化への投資等、先行きの建設需要は底堅いものの、建設費の高騰や労働力不足、働き方改革、工期長期化等の課題が重なり、ゼネコンサイドにおいて着工時期の設定等に慎重になる傾向が続いています。そのため、国内コンクリートパイル業界の全体出荷量は、前年同期比で0.7%の微減となりました。

こうした中、当社グループにおいては、一部の大型案件において着工遅延や設計変更に伴う工事の一時中断が発生し、売上高の一部が次期へ持ち越されている影響が生じております。結果、当社グループの国内コンクリートパイル出荷量は前年同期比0.6%の微減となりました。一方で、当社グループはすべての基礎杭（コンクリートパイル、鋼管杭、場所打ち杭）を扱う優位性を生かした最適な基礎構築提案によるワンストップ営業を推進し、より収益性の高い大径・大規模工事の受注獲得に注力しています。加えて生産および施工工程の平準化・効率化を進め、工事遅延による収益への影響を最小限に抑えております。

結果、国内事業の売上高は692億60百万円（前年同四半期比15.8%増）、営業利益は68億8百万円（同93.9%増）となりました。

② 海外事業

海外事業では、ベトナムの事業子会社Phan Vu Investment Corporationは、ベトナム国内の高い経済成長率を背景に、工場稼働率の改善や大型案件の受注増も伴って、事業収支は大きく改善しています。

結果、海外事業の売上高は145億2百万円（前年同四半期比17.1%増）、営業利益は13億1百万円（前年同四半期は営業損失1億34百万円）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は837億21百万円（前年同四半期比16.1%増）となりました。利益面では、営業利益は81億15百万円（同138.5%増）、経常利益は81億42百万円（同169.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は60億12百万円（同149.5%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ52億61百万円増加し、1,026億56百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が12億96百万円、棚卸資産が合計で9億8百万円、有形固定資産合計が17億11百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ11億16百万円増加し、491億97百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金やファクタリング未払金などの支払債務が合計で12億63百万円増加したことなどによるものであります。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による増加60億12百万円、配当金の支払いによる減少17億71百万円、その他有価証券評価差額金の増加4億96百万円、為替換算調整勘定の減少2億97百万円、非支配株主持分の減少2億98百万円などの結果、前連結会計年度末に比べ41億45百万円増加し534億59百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、当第3四半期連結会計期間における実績を反映して、以下のとおり修正致します。

2026年3月期 通期連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 115,000	百万円 9,000	百万円 9,000	百万円 5,700	円 銭 149.65
今回修正予想(B)	115,000	9,500	9,500	6,500	170.65
増減額(B－A)	—	500	500	800	—
増減率(%)	—	5.6	5.6	14.0	—
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	100,803	4,333	3,872	2,346	61.61

当社グループでは、国内における工事の大型化に伴う生産体制の整備を進めておりますが、その一環で予定していた固定資産の撤去工事等に遅延が生じていること、加えて、当第3四半期実績や、足元の受注状況・工事進捗状況等も踏まえて修正しております。

（注）上記の業績予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,138	21,435
受取手形、売掛金及び契約資産	31,528	27,487
電子記録債権	3,427	6,606
未成工事支出金	2,161	2,042
商品及び製品	6,755	7,790
原材料及び貯蔵品	2,023	2,015
その他	1,723	1,954
貸倒引当金	△2,895	△2,590
流動資産合計	64,862	66,741
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,268	8,999
その他（純額）	16,587	18,568
有形固定資産合計	25,856	27,567
無形固定資産		
のれん	61	637
その他	555	897
無形固定資産合計	617	1,535
投資その他の資産		
その他	6,099	6,851
貸倒引当金	△39	△39
投資その他の資産合計	6,060	6,811
固定資産合計	32,533	35,914
資産合計	97,395	102,656

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,276	11,396
電子記録債務	3,262	3,650
ファクタリング未払金	7,784	8,539
短期借入金	9,826	10,424
1年内返済予定の長期借入金	2,099	1,914
未払法人税等	938	1,336
契約負債	900	1,054
賞与引当金	769	319
完成工事補償引当金	44	40
工事損失引当金	134	135
その他	3,104	3,597
流動負債合計	40,141	42,408
固定負債		
長期借入金	5,153	3,798
役員退職慰労引当金	245	263
退職給付に係る負債	902	932
その他	1,637	1,793
固定負債合計	7,939	6,788
負債合計	48,081	49,197
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,621	6,621
資本剰余金	8,697	8,698
利益剰余金	27,826	32,070
自己株式	△0	△0
株主資本合計	43,144	47,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,477	1,973
為替換算調整勘定	1,064	767
退職給付に係る調整累計額	42	41
その他の包括利益累計額合計	2,585	2,783
非支配株主持分	3,583	3,285
純資産合計	49,314	53,459
負債純資産合計	97,395	102,656

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	72,140	83,721
売上原価	60,974	67,401
売上総利益	11,166	16,319
販売費及び一般管理費	7,764	8,204
営業利益	3,402	8,115
営業外収益		
受取利息	20	162
受取配当金	111	110
持分法による投資利益	—	28
為替差益	—	123
その他	174	170
営業外収益合計	305	595
営業外費用		
支払利息	435	530
持分法による投資損失	78	—
その他	173	37
営業外費用合計	686	568
経常利益	3,021	8,142
特別利益		
固定資産売却益	15	14
投資有価証券売却益	375	661
その他	—	4
特別利益合計	390	680
特別損失		
固定資産売却損	—	40
固定資産除却損	23	43
投資有価証券売却損	2	0
減損損失	—	47
関係会社株式売却損	99	—
その他	—	18
特別損失合計	124	149
税金等調整前四半期純利益	3,286	8,674
法人税等	1,138	2,399
四半期純利益	2,148	6,274
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△261	261
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,409	6,012

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
四半期純利益	2,148	6,274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101	496
為替換算調整勘定	126	△473
退職給付に係る調整額	△3	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	4	△56
その他の包括利益合計	25	△35
四半期包括利益	2,173	6,239
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,444	6,662
非支配株主に係る四半期包括利益	△270	△422

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
減価償却費	2,551百万円	2,477百万円
のれんの償却額	13	10

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 （注）1	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	59,759	12,380	72,140	—	72,140
セグメント間の 内部売上高又は振替高	35	—	35	△35	—
計	59,795	12,380	72,175	△35	72,140
セグメント利益又は損失 （△）	3,512	△134	3,377	24	3,402

（注）1. セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去、のれんの償却額などが含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 （注）1	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	69,218	14,502	83,721	—	83,721
セグメント間の 内部売上高又は振替高	41	—	41	△41	—
計	69,260	14,502	83,763	△41	83,721
セグメント利益	6,808	1,301	8,110	5	8,115

（注）1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去、のれんの償却額などが含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

国内事業セグメントにおいて、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては47百万円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

国内事業セグメントにおいて、株式会社高山基礎工業の全株式を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結会計期間においては5億91百万円であります。

なお、のれんの金額は当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。